

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|----|----------------|
| ○事業所名 | 札幌市みかほ整肢園 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年 1月 13日 | | ～ 2026年 3月 3日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 61 | (回答者数) 50 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年 2月 1日 | | ～ 2026年 2月 28日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 20 | (回答者数) 20 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 3月 6日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 担任保育士や指導員、看護師に加え、リハビリ担当の理学療法士や作業療法士など、多職種の職員が配置されています。そのため、保育活動において子ども一人ひとりの状況に応じた環境設定や介助を行うことが可能となっています。また、季節に応じた行事も実施しています。 | クラス会議やケースカンファレンスを定期的に行い、子どもやその家族に関する情報を共有することで、支援の方向性の統一を図っています。 また、お花見や動物園遠足、プール活動、北大散歩、そり滑りなど、季節に応じた屋外活動や、年長児を対象としたお泊まり会などの行事も実施しています。 | 継続してクラス会議やケースカンファレンス会議を開いて情報共有を行います。 |
| 2 | 医療的ケアが必要な子どもにも対応できるよう看護師を多く配置しています。また、医療的ケアが必要な子どもや自力で座ることが難しいお子さんも、ドアツードアで送迎を行っています。そのため、福祉車両を使用し、バギーや車いすでの送迎が可能となっています。 | 福祉車両の増大を可能な限り行い、加えて座位保持が不安定なお子さんでも乗車可能になるように車載用座位保持装置の購入を行っています。 | 医療的ケアが必要なお子さんや家族も安心して利用していただけるよう、さらに看護師の配置を充実させ、一人ひとりの状態に応じたきめ細やかな支援体制の構築を進めていきます。また、安全面のさらなる向上を図るため、送迎時のマニュアル整備や緊急時対応訓練の強化にも取り組んでいきます。 |
| 3 | 個別懇談やクラス懇談を定期的に行い、保護者への情報提供や意見交換を行うことで、家庭での子どもへの支援が円滑に行えるよう努めています。子育て講座の勉強会や年1回のペアトルを通じて保護者が日常生活で実践できる具体的な関わり方を支援しています。 | 月1回のクラス懇談や全体クラス懇談、親子発達支援などを通じて保護者の困り感に寄り添いながら子育てをサポートできるよう話を聞く時間を設けています。 | 必要に応じて日中一時支援事業や短期入所、居宅介護などの支援も利用できるような制度の勉強会や保護者と話をする時間を定期的に設定します。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 大人数で活動時には部屋が狭く感じる場合があります。 | 姿勢保持装置を必要とする子どもが多く、登園者数が増加した場合には、十分なスペースを確保することが難しくなる場合があります。 | 姿勢保持装置の場所や使用スケジュールを明確化します。また、登園人数が多い時には他の部屋を使用して混雑を避けつつ、安全かつ十分なスペースを確保できるよう工夫します。 |
| 2 | 幼稚園や保育園との地域の子どもの交流を行ったが回数が少なくなっています。 | 今年度も年2回地域の保育園へ行ったりみかほに来ていただいで活動をする時間を設けたが、限られた人数のみの交流となっていました。 | 次年度はさらに地域の保育園や幼稚園との交流を行っていきます。 |
| 3 | | | |